



こちら

# 中央区です

12月号  
平成29年

**中央区役所**  
〒860-8618 中央区手取本町1番1号 ☎096-328-2555(代表)

・総務企画課	☎096-328-2610	・保護課	☎096-328-2320
・区民課	☎096-328-2240	・保健子ども課	☎096-328-2419
・福祉課	☎096-328-2311	・中央税務課	☎096-328-2181

中央区まちづくりセンター ☎096-328-2232

中央区の人口 (人口) 187,833人(前月比-59) (世帯) 97,883世帯(前月比-9) (面積) 25.45km<sup>2</sup> (国土地理院公表値)

中央区まちづくり事業

## からだいきいき健康フェスタ参加者募集

無料

親子で参加できる健康イベントです。今話題の「足型測定」や健康チェックなどを行いながら、子どものスポーツの可能性を広げる良い機会です。親子で参加しませんか。

- 日時** 来年1月21日(日) 午前9時～11時半、午後1時半～4時
- 場所** 市総合体育館・青年会館
- 内容** ・各種身体機能チェック、足型測定、運動能力向上プログラムを体験  
・山下 和彦さん(大阪大学大学院医学系研究科特任教授)による足型測定に関する講話、測定結果説明
- 対象** 中央区に住むか通勤・通学する小学生と保護者
- 定員** 各回100人(先着順) ※大人50人、小学生50人
- 申込み** 12月9日から住所、氏名、電話番号をファクス(096-381-0953)か直接、市総合体育館・青年会館(☎096-385-1010)へ

## 育児相談

無料

子どもの発育・発達や子育ての悩みごと、離乳食の進め方など気軽に相談ください。

- 日時** 12月4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月) 午前9時～10時半
- 場所** 健康センター大江分室 (ウエルパルクまもと3階)
- 内容** 身長・体重の測定、行動や言葉の相談、歯に関する相談、離乳食・幼児食のすすめ方など
- 対象** 中央区に住む乳幼児と保護者
- 持参物** 親子(母子)健康手帳
- 申込み** 当日直接会場へ (中央区役所保健子ども課)

## 専門医による心の健康相談

無料

心の病気で悩みの方、気軽にご相談ください。

- 日時** 12月25日(月) 午後2時～4時
- 場所** 中央区役所3階保健子ども課相談室
- 内容** 専門医による個別相談
- 対象** 心の病気の方や家族の方など
- 定員** 2組(先着順) ※予約制
- 申込み** 12月22日までに電話で中央区役所保健子ども課へ

## ほっとカフェ

無料

- 日時** 12月16日(土) 午後1時半～3時
  - 場所** 託麻原地域コミュニティセンター和室
  - 対象** 認知症の方や疑われる方を介護する家族、地域関係者など
  - 申込み** 当日直接会場へ
- 詳しくは、ささえりあ帯山(☎096-241-0230)へ。



(中央区役所福祉課)

## 認知症介護家族のつどい

介護の悩みを打ち明けて気持ちを分かち合い本音が話せる場です。

- こもれびひろば**
- 期日** 12月6日(水)、15日(金)
- 場所** 水前寺高齢者複合施設 (中央区国府1丁目3-15)
- 申込み** 電話でささえりあ水前寺(☎096-362-0065)へ
- もやいのひろば**
- 日時** 12月23日(祝)
- 場所** 風流街もやい館グループホーム五福 (中央区細工町4丁目34-1)
- 申込み** 電話でささえりあ熊本中央(☎096-319-0222)へ

【共通事項】

- 時間** 午後1時半～3時半
- 対象** 認知症の方を介護する家族
- 費用** 100円 (中央区役所福祉課)

## 多世代型オレンジカフェ

それぞれの世代が役割を持ち、活動し交流することで、認知症に対する理解が深まります。

- 日時** 12月23日(祝) 午後1時～3時
- 場所** 水前寺公園参道「健康ふれあい広場」
- 内容** 廃材を使ったクリスマスリースづくり、茶話会、囲碁、パソコンなど
- 対象** 認知症高齢者および家族、高齢者、子ども、親世代、学生、地域関係者など
- 費用** 100円
- 申込み** 電話でささえりあ水前寺(☎096-362-0065)へ (中央区役所福祉課)

## 中央区まちづくりセンターです

この記事が掲載されるころには季節も冬本番を迎えるところで、各校区では年末・年始の行事計画などでバタバタと慌しくなっている時期ではないでしょうか。



城東・慶徳・壺川 校区担当 喜佐田 充伸

さて、私の担当校区は城東校区・慶徳校区・壺川校区で、中心市街地を含む市内のど真ん中で、住宅街や繁華街、オフィス街など生活と経済が交差している地域です。

ほかの校区同様、お祭りや認知症見守りサポート福祉活動などの地域活動のほか、にぎわいを見せる繁華街ならではの夜間パトロールが実施されています。夜間の客引き行為や危険な立て看板が増加傾向にあり、地域の方々を中心に警察・商店街・企業でパトロール活動を実施しています。改めて、「普段の生活」は地域の方々の力「地域力」で成り立っていると感じました。

これからも、地域の勉強をさせていただきながら、こういった支援活動ができるかを考え実践できればと思います。

(中央区まちづくりセンター)

## 中央区ニュース

### 中央区地域包括ケアシステム推進会議

「地域包括ケアシステム」という言葉をご存知でしょうか。



団塊の世代が75歳以上となる2025年以降、医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれる中、高齢者が可能な限り住み慣れた地域において、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供されることにより、地域で高齢者をまるごと支えるしくみのことを「地域包括ケアシステム」と呼んでいます。

中央区では、このシステムを区民の皆さんと一緒に進めることができるように、医療・介護・福祉・地域・行政など関係者にお集まりいただき、中央区の地域包括ケアシステムを推進するため、今回「中央区地域包括ケアシステム推進会議」を設置しました。

10月23日に開催した第1回目の会議では、「高齢者が地域で安心して住み続けるために、現在取り組んでいること」や「この地域で住み続けるために、2025年に向けて取り組むべきことをテーマにワークショップなどを行いました。

今後も、誰もが高齢になっても「おたがいさま」で支え合い、安心して暮らし続けることができるよう、区民の皆さんと一緒に中央区の地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。

(中央区役所福祉課)

## 魅力再発見 城下町くまもと散策

出水南界隈②

### 「天神の森」

みなさんは「天神の森」をご存知でしょうか。出水南中学校の南側に、檜の木や檜などが生い茂る森があり、神を祀っています。地域の人はこの森を「天神ノ森」と呼び、かつては二段積の石垣が築かれ、その中央に、たぶの木5本を神木として天神が祀られていました。また、神木の根元には五輪塔の残欠(一部が欠けた物)が残っていますが、年代などは不明です。

「天神」といえば、現在では学問の神、受験の神として広く信仰されている菅原道真公を思い浮かべる方も多いと思いますが、天神の森で古代より祀られていたのは、洪水、火事、地震や疫病が鎮まるよう祈るためや、五穀豊穡を願う信仰の対象となった

水の神、火の神、山の神などの「自然神の天神」であったと考えられます。その後、天神の森は、自然神を祀る森であったのが、天神さんの道真信仰と結びつき、御神体が菅原道真公に変わったといわれています。

このように、天神の森は、古代から「神を祀る森」として地域の人々に大切にされ親しまれた場所であったと思われます。古くから地域を見守ってきた天神の森に、皆さんも一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。

【参考文献】 出水地域の歴史散歩・ガイドブック

(中央区役所総務企画課)